

2020年度

神戸大学医学部附属病院
日本医療研究開発機構 (AMED) 次世代医療機器連携拠点整備等事業

オンライン開催

参加費無料

定員250名

神戸医療機器創出 イノベーションシンポジウム

産学医連携による治療系医療機器開発への挑戦

神戸大学医学部附属病院が独自に提案する、持続可能な医療機器創出“日本型エコシステム”。その具体像の模索の過程で、治療系医療機器開発を主体的に実施した経験と人材が、国内の臨床現場や企業では米国に比し、極めて乏しいことが大きな課題として見えてきました。本シンポジウムでは、産学医連携による治療系医療機器の開発事例の苦労や成功と失敗を分けた分水嶺などを追体験することで、皆さまの今後の開発に役立てていただければと考えます。また、本学の医療機器開発人材育成の新たな試みについても紹介します。



日時

2021年3/22日 17:00 ▶ 20:05
(16:50よりログイン開始)

開催方法 Zoom ウェビナー 対象 企業関係者、医療従事者、工学系研究者 他

参加申込詳細 <https://www.med.kobe-u.ac.jp/jisedai/seminar.html>

2021年2月25日(木)より参加登録開始

開催日の数日前に、ご登録のメールアドレスへZoomウェビナーの招待URLをお送りします。



プログラム(敬称略)

開会挨拶 17:00-17:05 藤澤 正人 神戸大学大学院 医学研究科長

来賓挨拶 17:05-17:10 竹上 嗣郎 日本医療研究開発機構 医療機器・ヘルスケア事業部 部長

基調講演 17:10-17:40 座長 | 藤澤 正人 神戸大学大学院 医学研究科長

hinotori™ サージカルロボットシステムの製品化と今後の展望

田中 博文 株式会社メディカロイド 代表取締役副社長

講演・パネルディスカッション

17:40-19:00 ▼産学医連携による治療系医療機器開発の実例 — 経験から学ぶ成功/失敗の分水嶺—
各講演20分 座長 | 谷下 一夫 次世代医療機器連携拠点整備等事業 プログラムオフィサー(PO)

日本から発信する医療機器開発:医療機器プログラムからClassIVまで

村山 雄一 東京慈恵会医科大学 脳神経外科講座 主任教授

希少疾病用医療機器:チタンブリッジ(甲状軟骨固定用器具)(クラスIII)の実用化への道程

讃岐 徹治 名古屋市立大学大学院 医学研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 准教授

現場だからこそ生み出せたクラスIV医療機器:放射線治療用の吸収性組織スペーサ

福本 巧 神戸大学大学院 医学研究科 肝胆膵外科学分野 教授 / 未来医工学研究開発センター 副センター長

リアル『下町ロケット・ガウディ計画』~素人だらけのクラスIV心臓手術材料開発

根本 慎太郎 大阪医科大学 研究支援センター 副センター長 兼 産学官連携推進室長

休憩 19:00-19:10

19:10-19:40 パネルディスカッション

モデレーター 谷下 一夫、保多 隆裕

神戸大学の取組紹介

19:40-19:53 ▼“日本型エコシステム”の基盤となる医療機器開発人材の育成に向けて

- 企業人、工学系研究者、医療従事者を対象としたリカレント教育“MDP育成プログラム”について
- 神戸大学が目指す医療機器創造人材のための新専攻・新学科の設立について

総括 19:53-20:00 妙中 義之 医療機器・ヘルスケアプロジェクト プログラムディレクター(PD)
次世代医療機器連携拠点整備等事業 プログラムスーパーバイザー(PS)

閉会挨拶 20:00-20:05 眞庭 謙昌 神戸大学医学部附属病院 病院長

全体進行 | 保多 隆裕 神戸大学医学部附属病院 臨床研究推進センター / 未来医工学研究開発センター 特命准教授

主催 神戸大学医学部附属病院
神戸大学未来医工学研究開発センター
(公財)神戸医療産業都市推進機構

後援 神戸市

問合先 神戸大学医学部附属病院
臨床研究推進センター
次世代医療機器連携拠点
整備等事業事務局

TEL : 078-382-5693
E-mail : kikisou@med.kobe-u.ac.jp

*プログラムは予告なく変更となる場合があります。
*お申込みに際してご記入いただきました個人情報は、法令で定められた場合を除き、当院主催のイベント等のご案内以外の目的では使用いたしません。また、個人情報を第三者に開示することはありません。